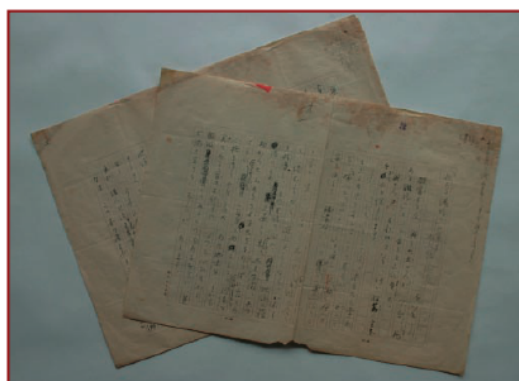


奥むめお コレクションの概要

奥むめおコレクションは、暮らしに根づいた女性運動の実践家奥むめおに関する資料約1,000点からなるコレクションです。奥むめおのご遺族から会館に寄託されました。文書、新聞記事、雑誌、写真(含アルバム)、動画・音声、チラシ・パンフレット・冊子・ポスター等から構成されています。



資料の特徴

戦前期

婦人参政権運動や働く女性のための活動に奔走していた、戦前期の奥むめおの活動を具体的に示す資料が多く残されています。なかでも、婦人セツルメントや、働く婦人の家の写真と建物平面図は、当時の状況を具体的に示す貴重な資料です。また、平塚らいてうをはじめとした多くの著名人の生原稿も残されています。

戦時体制下

戦時体制下における奥むめおの活動を詳細に示す資料として、婦人国策委員の委任状(依頼状)が多数残されていますが、これは特筆すべきことです。

戦後

戦後という新たな時代に、奥むめおの思想と行動がどのように展開され、消費者運動として結実したのかを示す詳細な記録が残されています。主婦連・主婦会館に関する膨大な資料からは、主婦連が主婦の力を結集していかに成立したかを知ることができます。また、主婦の店運動に関して語った奥むめおの肉声も残されています。さらに、消費者運動に関する文書・ポスター・写真・動画・音声資料など多数残されていて、そのなかには、昭和36(1961)年3月に行われた物価値上げ反対婦人大会と請願デモの様子を映す、貴重な動画も含まれています。